

最先端 取

For MT4

Analyze the following.

Candle / Cycle / Dow /

Chart Pattern/ Overall chart

BOツール

2022年、凍結前提で作られた

唯一無二のツール

1. 裁量なし
2. マーチンなし
3. 張り付きなし

ロジカルトレーディング
提唱者

斉木勇一 開発

New Generation Binary Option Tool

ベネフィット デュオ

Benefit Duo

過去1年間で最も凍結されたBOツール

動画限定資料

Benefit Duoの裁量ポイント

裁量ポイント1

Benefit Duo1.ex4で引かれた
チャネルの角度が水平に近い状態でない
または急すぎない状態

裁量ポイント2

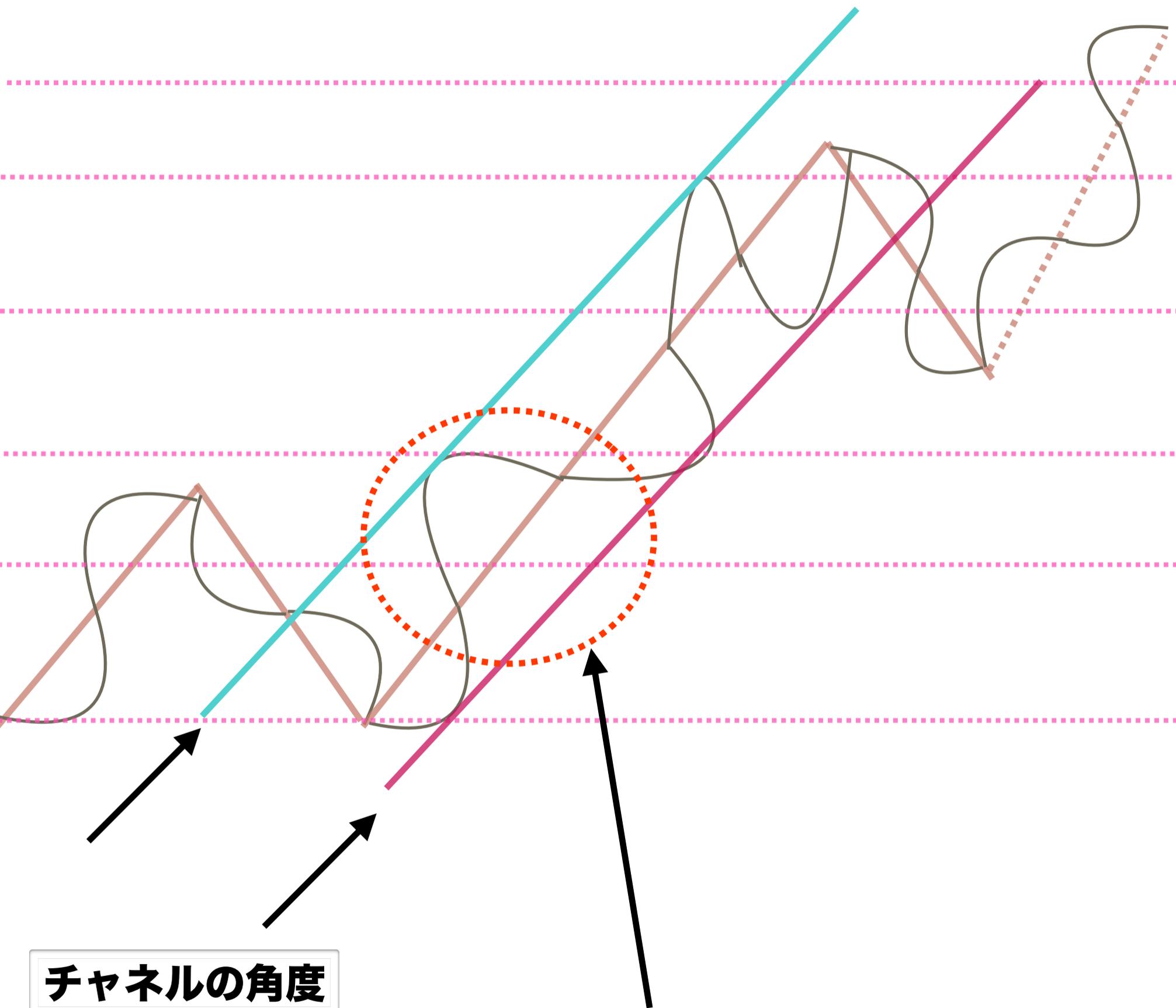
Benefit Duo1.ex4で引かれたチャネル内のサイクルが
規則的に綺麗なA、Vを描いている状態

→Benefitは完成されたロジックであり
Benefitのエントリー条件から
外れるようなことはしてはいけない

あくまで裁量は

「既存のBenefitのエントリーに対し精度を高めること」
が目的

Benefit Duoの裁量ポイント



チャンネルの角度

Aサイクル/Vサイクルの綺麗さ

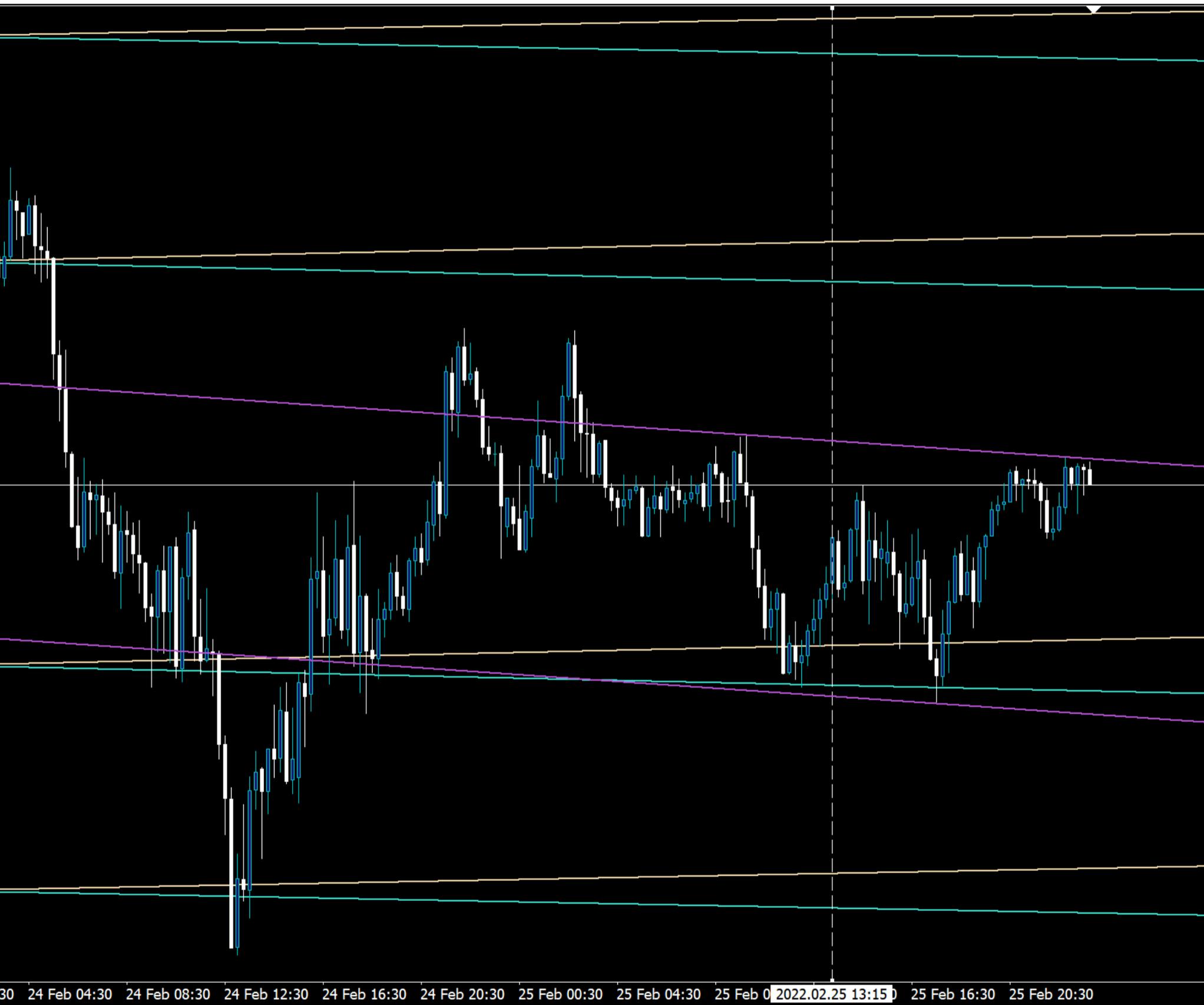
裁量ポイント1

裁量ポイント1

Benefit Duo1.ex4で引かれた
チャネルの角度が水平に近い状態でない
または急すぎない状態



見送っても良いエントリー一例

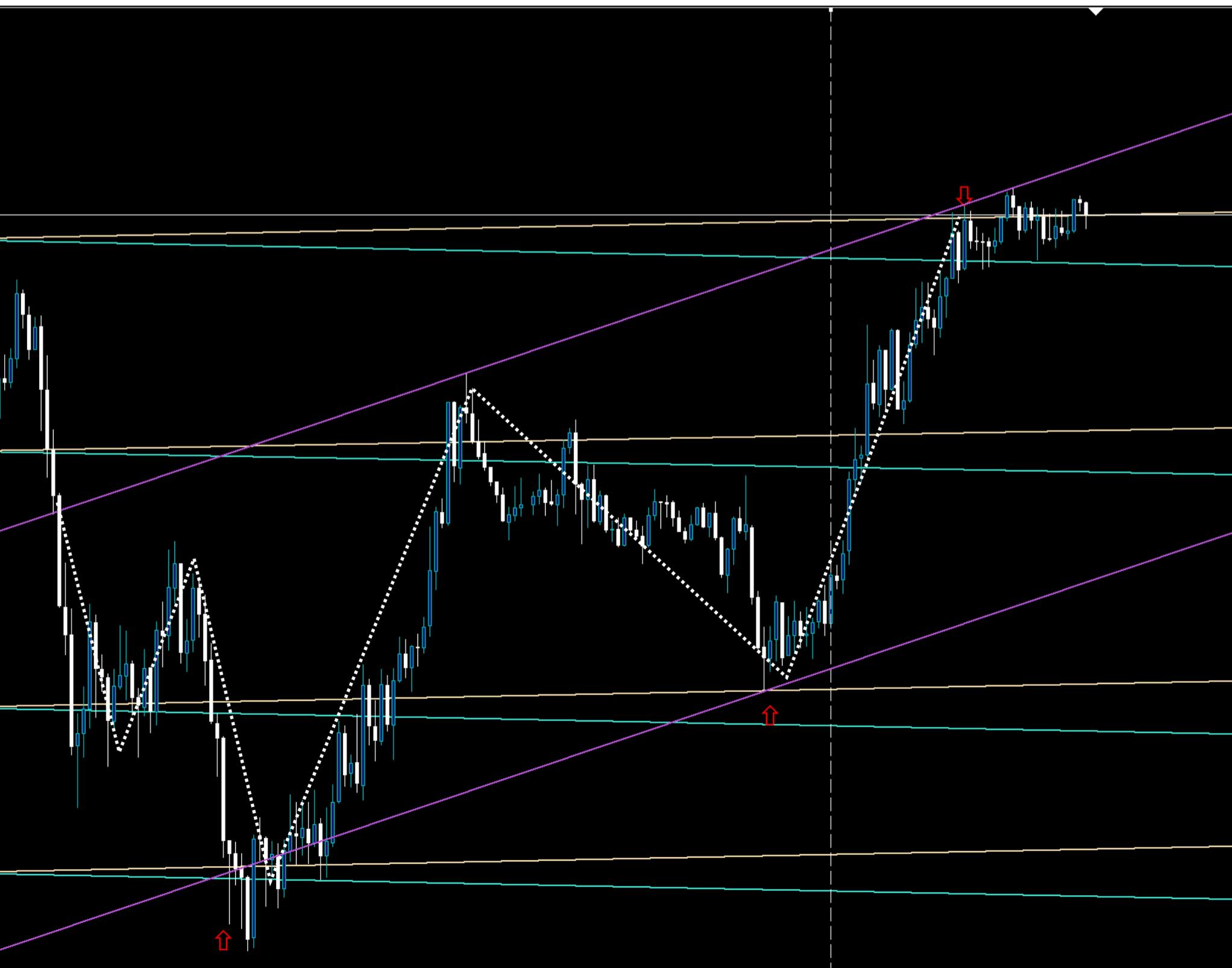


チャネルの角度が水平に近い

裁量ポイント2

裁量ポイント2

Benefit Duo1.ex4で引かれたチャネル内のサイクルが
規則的に綺麗なA、Vを描いている状態



見送っても良いエントリー一例



チャンネル下限に張り付いているような
状態であり、チャンネル内で
綺麗にサイクルが形成されていない

売買性質（PQ）

「裁量を学びたい、でも何を具体的に
どう学んでいいかがわからない…」

日々このような悩みが、大量に送られてきます。

一番最初に裁量で学ぶ必要があるのは、
「売買性質」です。

売買性質がわかることで
自分でラインを引くことができるようになり、
値動きに対して理由づけを行うことが
できるようになります。

売買性質 (PQ)

売買性質とは…

チャートは新規買/新規売/決済買/決済売の
どれかでしか動かないという原則。

売買性質

4つの割合の偏りがチャートが動かす
(相場の原理原則であり、サイキックス手法の核)

新規	決済
買	売
売	買

チャート分析は、これらによって理由付けが行わなければいけない

さて4つの中でどこの値動きに着目すべきだと
思いますか？

売買性質 (PQ)

答えは「新規買いと新規売り」

理由は決済した人たちは「相場からいなくなり、その後のチャートに影響を与えないから」

つまり、FX、バイナリーというのは

- ・これから入ってくる新規エントリー
- ・現在すでに入っている新規エントリーがどこで決済するか

この2つを当てるゲームなのです。

この基本ルールがわかってないと

いつまでも相場を彷徨ってしまう。

売買性質（PQ）

例えば「レンジブレイクを狙った手法」というのはFX、バイナリー問わず人気の手法ですがこれを売買性質で解説しましょう。

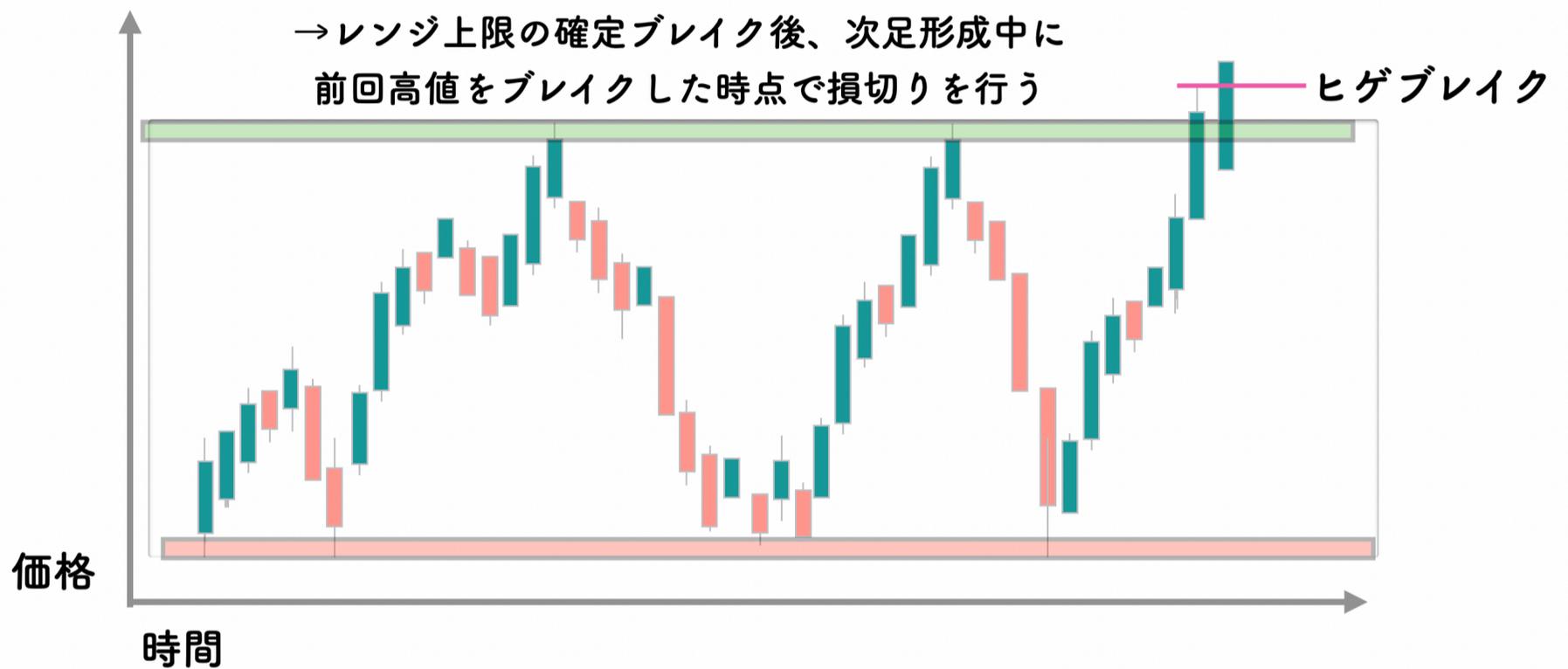
ボックスレンジブレイクを狙った手法は

「レンジ内で新規エントリーした人の損切り（決済）を狙った手法」になります。

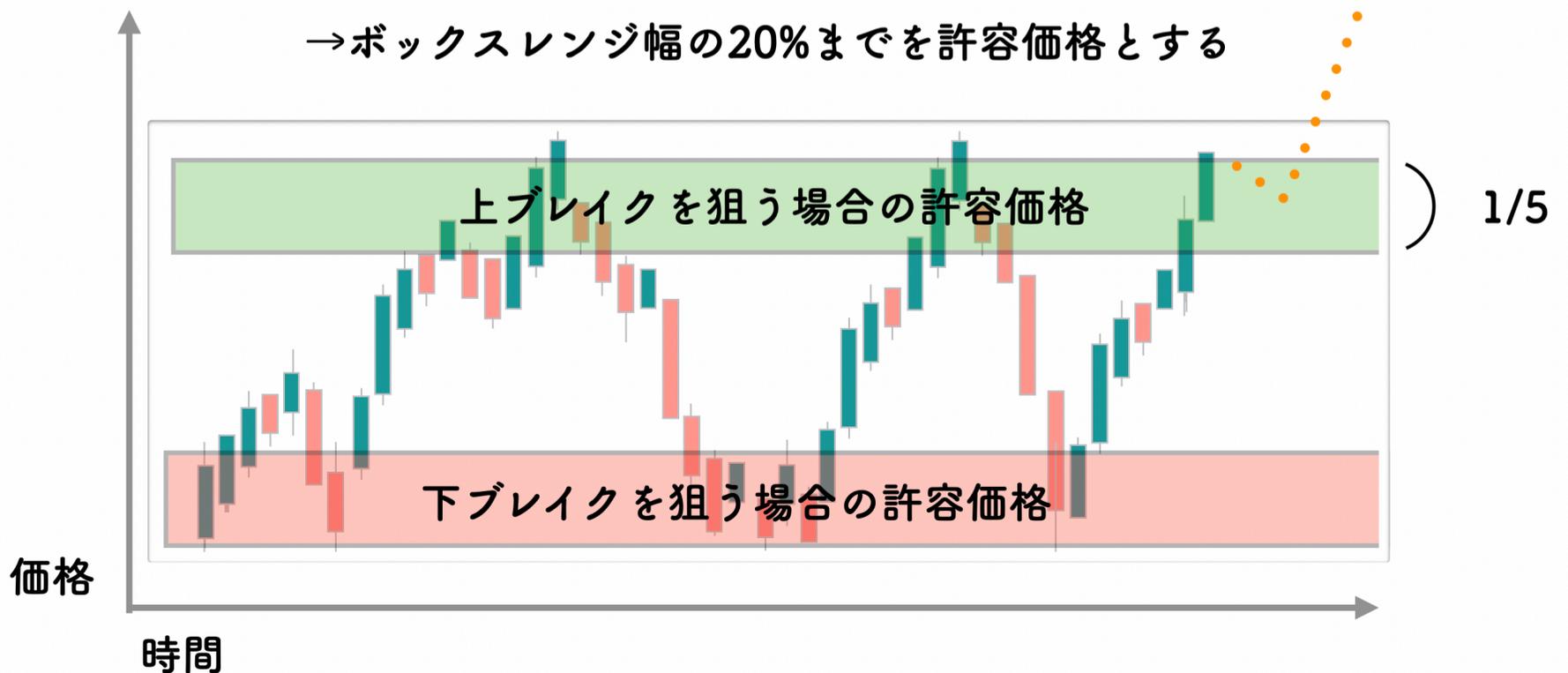
新規より決済の値動きの方が短期間に動きやすい傾向があり実際にボックスレンジのブレイク後は大きく噴き上げているイメージありますよね？

参考資料

レンジ逆張り戦略における 損切りラインの設定方法



レンジブレイクアウト戦略における 損切りラインの設定方法



売買性質 (PQ)

ただ実際問題として

まだブレイクしていない状態の

レンジ形成中にブレイクを狙う際には

- ・どちらにブレイクするかわからないからエントリーできない
- ・少しのブレイクしたくらいで飛びつくと騙しのブレイクの可能性がある

という2つの問題点が発生します。

レンジがどちらにブレイクするのは誰にも

わからない以上、そこでポジションを形成することはギャンブルトレードになりやすい。

売買性質（PQ）

では「ブレイクした後に飛び乗れば良いのでは？」
こう思われた方もいるでしょう。

事実ほとんどのレンジブレイク手法が、明確にブレイク
をした後に順張りをかけるロジックです。

ただレンジのブレイクは先ほども申し上げた通り
売買性質で言うところの決済です。

決済というのは、絶対量が決まっています

（すでにエントリーされているポジション量の分しか決済は生まれ
ない。当然ながら決済が新規を上回ることはない）

売買性質（PQ）

レンジブレイクアウト手法は「レンジでエントリーした人たちの損切りを狙う手法」であるが、すでにある程度決済が発生した状態でないと、ブレイクしたことがわからないため、追加で決済が大量に入る可能性は高いとはいえない。

（※もちろんブレイクの段階とポジションのたまり具合にもよります）

また決済した人たちはチャートからいなくなるため、そこから更にブレイク方向へ伸びるためには、新規のポジションが入るかにかかっているがその時点では、新規エントリーするのかなどということはわかりようもない。

売買性質を少し考えてあげるだけで

レンジブレイクボックス手法は

「伸び代が少なく、理にかなった手法だとはいえない」ということが見えてきます。

売買性質（PQ）

今の「レンジブレイクは決済で動いている」といったように、チャートには売買性質で説明できる箇所がたくさんあり、逆に「新規エントリーで動いている箇所」もたくさん存在します。

当然新規エントリーした人たちはどこかで決済する必要があるので、新規エントリーがたくさん入った場合は、それだけどこかで逆方向に動く可能性が高いのです。

新規ポジションのみを虎視眈々と分析することで間違いなくチャートが見れるようになります。

売買性質 (PQ)

今の値動きに対して理由をつけ、

「今こういう状況だから将来こうなる可能性が高い」と仮説を立てるのがトレードです。

今の値動きの理由さえわからないのに、

将来の値動きの予測なんてできるはずがない。

売買性質を持って自分でシナリオを立てること

= チャートを自分で見るための練習

さいごに

すごく難しい数学の問題があったとして、
眺めてるだけで解けるようになると思いますか？

自分なりに仮説を立てて、手を動かしていくから
少しずつ答えに近づいていく。

ツールだけを眺めてトレードしているのは、
まさに「眺めているだけ」の状態

そのまま10年相場にいてもチャートを
眺めているだけじゃ勝てないし、実力は伸びない。

売買性質を使うことで自分でチャートを見る目を養う
スタートラインに立てます。

これを機にスタートラインに立っていただいた
あなたのこれからの活躍を期待しております。